

平成18年度子ども読書活動推進事業 「幼稚園・保育所・児童館職員研修会」

趣 旨 幼児期からの読書活動の推進について研修を深め、指導者としての資質と実践意欲を高める。

実施主体 県教育庁生涯学習推進課

参加対象 幼稚園教諭、保育所保育士、児童館職員、市町村行政主管課担当者 他

参加者数 90名

回 数 1回 **日 数** 1日 **時 間** 5時間

場 所 岩船広域教育情報センター

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月9日(水) 10:20~15:10	幼児期における読書活動充実のための関係機関の連携、指導者の資質向上	講演 野の花文庫主宰 真壁 伍郎 事例発表 見附市図書館 今井 恵子 見附市中央保育園 山田 厚子 燕市児童研修館 関崎 智弥
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演のテーマは「絵本のたのしみ～心ゆたかに育つために」。M・Jアンダーソンや神谷美恵子の本の引用や児童書の紹介などを通して、乳幼児期から美しいものに触れさせることなど絵本のすばらしさについての講演があった。 ○ 事例は2事例。保護者会や園外貸出において司書と保育士が連携し、読書活動を推進する公共図書館・保育園の事例、ボランティアとの連携により人形劇などを活用して子どもと本をつなぐ児童館の事例の発表があった。 ○ 講演、事例発表共に一斉研修。それぞれ質疑応答の時間を設けた。 ○ 講演会については、一般にも広報し、参加者を募った。 	

成 果

- ・ 家庭、保護者に絵本の大切さを伝えるための連携の工夫や子どもたちを絵本に導く工夫が豊富な実践を基に述べられ、参加者にとって多くのヒントをもらうことができた内容で有意義であったと考える。
- ・ 子どもの読書活動の周知・啓発の意味では、講演会を一般に開放したことは有効であった。

課 題

- ・ 幼・保・小の連携、公共図書館や家庭・地域との連携など、一層の子ども読書活動推進のため、関係者同士が職種等を越えて共同で研修を行うなど、今後、連携を密にし、豊富な情報のもとに効果的な活動が展開されるよう、研修会の持ち方を検討したい。

問合せ先 新潟県教育庁生涯学習推進課 成人教育係 (担当 小田智美)
TEL : 025-280-5617